



地域連携センターが発行しているニューズレター、今回は『特別編』としてむかわ町地域おこし協力隊インターン「ムカワカレッジ」に参加した様子を学生にレポートしてもらいました。担当するのは経済学専攻3年中嶋しずくさん。これまでも地域連携センターのイベントやさまざまなプログラムに積極的に参加してきたチャレンジ精神旺盛な中嶋さんが、初めてチャレンジした地方自治体のインターンシッププログラム。2/13(火)～2/29(木)まで、むかわ町で過ごした日々の中で、どんな方々と出会い、どんな活動をして、何を感じたのか、振り返ります。

●むかわ町の皆さんとの意見交換

むかわ町役場本庁舎と穂別支所の職員さん、教育委員会教育長や鷓川高校の校長・教頭先生、小中学生の放課後活動支援に携わっている方々など、多くの方々と話す機会がありました。役場の職員さんとは、将来自分が働いたらどんな環境で働くことになるのかや仕事のやりがいなどを話しました。将来の進路を迷っている中、実際に働いている方々と話をし、不安なことも相談することができたため、とても有意義な時間になりました。



▲地域商社Mdinoの方とイベントの準備



●むーブとむかこみゆの活動に参加

総合型地域スポーツクラブとしてスポーツ振興やスポーツを通じた地域づくりなどを行っている「むーブ」とむかわ町子育て支援事業「むかこみゆ」の活動に参加しました。お菓子作りやダンス、バドミントンなどを通して、小中学生の子供たちと交流をしました。はじめは子供たちとのコミュニケーションで苦戦していましたが、回数を重ねていく中で子供たちとの関わり方を学び、サポートしながら一緒に楽しんで活動することができました。



▲しゃべり場鷓川(左)と放課後子供教室バドミントン(右)の様子



●むかわ町物産展に参加

イベント実施支援業務として、BiVi新さっぽろで行われたむかわ町物産展に参加しました。むかわ町物産展では、地元以外でのイベントで役場職員が、どのような役割をして活動しているのかを間近で見ることができたこと、実際にPR活動を行う立場に立って活動することができたことが自分にとっていい経験になりました。



むかわ町総合政策課長兼企画調整グループ長 栃丸 直士さんからのコメント

「ムカワカレッジ」に勇気をもって参加していただいたことに感謝いたします。慣れない環境に不安な顔をしていましたが、日々、職員や町民の方々と接する度に自信のある顔つきに徐々に変わっていきました。様々な役場の仕事の体験や多くの町民の方々と接したことで、多くの「気づき」や「学び」が得られたのであれば嬉しいです。自分と向き合い、地域と向き合い、むかわ町と向き合っていたいただいた中嶋さんの今後の活躍に期待しています。



▲栃丸課長(左)と中嶋さん(右) やってみたいことは「北海道一周!」 得意な筆ペンで書きました

参加した中嶋さんからのメッセージ

最初は初めて訪れた場所で、住みながら働くということにとっても不安でしたが、気にかけてくださるとても親切な方たちに恵まれ、楽しみながら様々な活動に参加することができました。ムカワカレッジを通して経験し、学んだことを今後の参加するボランティア活動などで活かしていきたいです。また、役場職員として働くことの大変さや町民との関わり方などを知ることができ、将来の職業選択の判断にもつながる経験もできたため参加してよかったです。

